

海燕社

の小さな

映画会 2018

2018年2月24日(土) 上映18:30(開場18:00)

場所: 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

料金: 1,000円 ※定員に達し次第、締切らせて頂きます

電話予約 098-850-8485(カイエンシャ)メール予約 mail@kaiensha.jp

九州・沖縄から

文化力

POWER OF CULTURE

後援: 沖縄県/那覇市/南城市



沖縄県南城市の久高島は、昔から神の島として知られ、年間三十に及ぶ神事が、島の暮らしに組み込まれており、今でも島人によって厳粛に受け継がれている。この久高島最大の神事が、十二年に一回午年に行われる「イザイホウ」である。

「イザイホウ」は、30歳から41歳の島で生まれ、島に生きる女が神になる神事で、四日間の本祭を中心に一ヵ月余の時をかけて行われるのである。島の女たちは、ノロを中心に神女組織を構成して島の男たちや島の暮らしを守ってきた。

これは、1966年の「イザイホウ」の記録作品である。

「イザイホウ」はその後1回行われ、1978年を最後に消滅した。多くの祭や神事が時代の波とともに形骸化し観光資源に変身したケースの多いなかで、「イザイホウ」は厳粛な神事の心を失わず、生きたまま消え去ったのである。

「イザイホウ」はまた、ドラマチックな構成を持ち、歌や踊りの原点ともいべき内容を有し、学問上でも価値の高い稀有の神事であった。今は、この記録映像で、その魅力の一端を感じてもらえないかなのである。

1966年 沖縄 久高島

ドキュメンタリー映画

イザイホウ

監督:野村岳也 1967年製作/モノクロ/モノラル/49分